

能登半島地震・奥能登豪雨 復興支援

地域の祭りの 再開を支援します！



たとえば…

- ・祭りの用具の修理費
- ・当日の消耗品費、資機材レンタル料
などに要する経費

を支援します

県（いしかわ県民文化振興基金）では、能登のふるさと文化の継承や、地域コミュニティの再建につなげるため、能登半島地震で被災した地域の祭りの再開を支援します。奥能登豪雨により被災した地域の祭りも対象となります。

対象事業

令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨の被災地において、地震又は豪雨により用具の破損や担い手不足などの影響が及んでいる祭りを開催するための事業

対象団体

次のいずれかに該当する団体を対象とします。

- （1）自治会、町内会または区等の地縁団体
- （2）複数の地縁団体の区域を対象とした、祭りの保存及び継承を目的とする保存会または実行委員会等の団体

助成額等

3年で最大150万円（定額助成）

※各地域からの要望状況によっては、1つの祭りに支援が偏らないよう多くの地区から構成されるような祭りについては別途上限額を定める場合があります。

申請要領 申請様式

ホームページからダウンロードできます。

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/chiiki_matsuri.html

※申請にあたっては必ず申請要領をご確認ください。



申請方法

- ・初めて申請する団体は、住所のある市町もしくは活動の本拠を置く市町の文化振興担当課へ相談のうえ、ご提出ください。
- ・令和6年度に申請したことのある団体は、以下の宛先に直接ご提出ください。

【事業実施主体・制度についてのお問い合わせ】

（公財）いしかわ県民文化振興基金

〒920-8580 金沢市鞍月1-1（文化振興課内）

TEL：076-225-1371 FAX：076-225-1496

Q&A

Q 対象にならない祭りはありますか。

A ・観光やにぎわい創出を目的としたもの
・祭りの開催とは独立して伝統芸能を披露するもの
・地域の住民が集まらず各家庭で催行することを主とした伝統行事は対象外となります。

Q どのような経費が対象になりますか。

A 祭りの用具や保存庫等の修理・新調(経年劣化によるものを除く)、後継者の育成のための研修会や気運醸成に向けたシンポジウム・検討会、情報発信や広報に要する経費、祭りの開催に係る各種消耗品購入、外部協力者(警備・清掃など)、資機材借上に要する経費 等

Q 対象にならない経費はありますか。

A 主なものとして、社寺の修繕費、神饌料や供物料など神事に関する経費、飲食費、神輿やキリコ等の担ぎ手に対する謝礼・交通費・宿泊費等、事務用品及び汎用性の高い備品(パソコンなど)の購入費、景品及び記念品購入費 等があります。詳しくはお問い合わせください。

Q 助成金は3年間でどのように交付されますか。

A 1つの団体につき最大50万円×3年間の助成を基本としますが、実績に応じた交付となりますので、1年目に最大150万円の助成を受けることもできます。
(例:1年目に用具の修理で150万円の経費がかかった場合
⇒助成額:1年目150万円 2,3年目0円)
事業終了後の精算払いを基本としますが、交付決定を受けてからは、交付決定額の8割まで概算払を受けることができます。

Q 令和6年度に助成を受けた団体は、再び助成を受けられますか。

A 助成限度額は1つの団体につき連続する3年以内で最大150万円となるため、150万円から令和6年度の助成額を控除した金額の範囲内で、助成を受けられます。

Q すでに実施してしまった取り組みの経費は助成を受けられますか。

A 助成期間中に実施、発注、納品の行為が行われるものが対象となります。
※令和6年度の取り扱いとは異なるため、ご注意ください。